

水俣病患者を診察

新潟大医学部の研究陣

新潟大医学部神経内科（椿忠雄教授）の白川憲一助手ら三人の新潟水俣病研究スタッフが十九日から水俣市などで水俣病患者をみている。

新潟水俣病は熊本水俣病より

発生が十年遅れているため、十年後の新潟の患者がどう変わるかなどを調査するためのもので、十九日は九人の患者（未認定も含む）の診察などをした。二十二、三日ごろまで滞在する。